

発行日：2013年7月17日

栃木県で一番低い山「磯山」登山

千葉市花見川区 小林 敬

7月になり、少々旅気分になってきた。曇り空ではあるが雨は降らないと想定して、八千代台発 10 時 21 分。気ままな旅は遅い出発で良い。

押上で乗り換えて乗った東武線は久喜行だったので、東武動物公園で南栗橋行に乗り換え。正午を過ぎて空腹になってきたが、もうひと頑張り。

南栗橋で栃木行に乗り換える時にでも何か食べようかなと思っていたが、この駅は広い駐車場がいくつも並ぶだけで、他には何もない。南栗橋発は 13 時 03 分。

もしかすると、これから行こうとする所にも食べる所がないのでは？と不安がよぎった。

新大平下 13 時 33 分着。ここまで来るのに何回乗り換えただろうか。電車が駅に入る直前に車窓から線路際のラーメン屋を見つけた。

駅の隣に直売所と食べ物屋とを兼ねたカタカナの名前の施設があるが、月曜日は定休日では駅前にお店はない、駅の真ん前に日立アプライアンス栃木工場がドカーンと構えているだけ。車窓から見つけたラーメン屋へ直行して昼食は、タンメンと餃子。

14 時頃、店を出て行動開始。曇っていた空が晴れて暑くなってきた。

まずは地図と原景を見て・・・、線路に沿って北へ向かう。右手は日立の工場、左手に東武日光線、この状態が 15 分ほど続いただろうか。工場の角を右に曲がって県道 311 号線に入り、今度は東に進路をとる。相変わらず右手には日立。

道の反対側に民家が並び始めたのが変化のひとつだろうか。工場の敷地と道路の境界にアジサイが植えられており、色々な色や形の花を楽しむことができる。

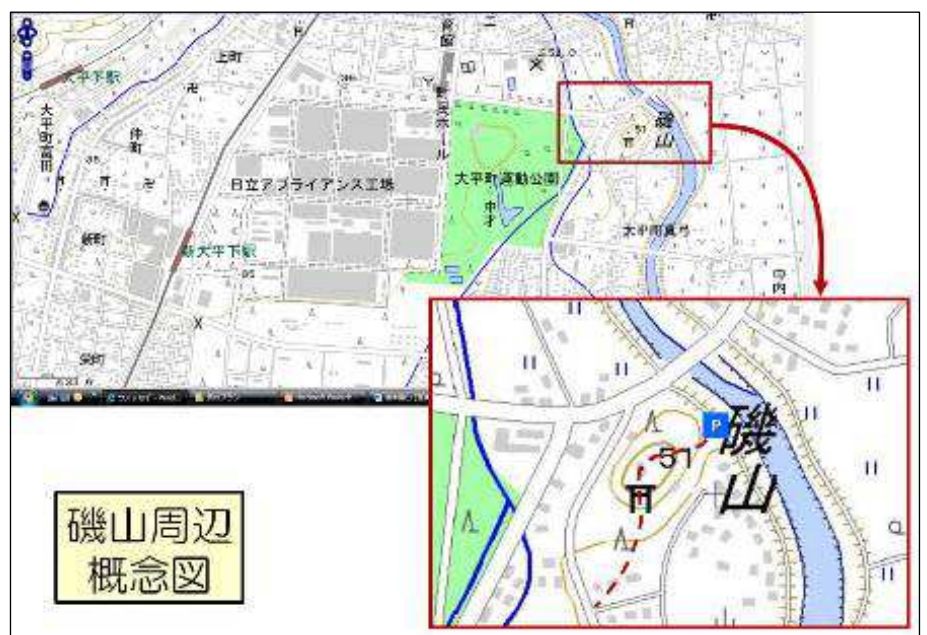
曲り角から 10 分ほど歩くと工場の敷地が終わって、次に大平町運動公園が広がるようになった。運動公園を過ぎてしばらくで県道 252 号線との交差点に出た。

交差点の向こうにこんもりと林の姿が見えた。あれに違いない。

永野川のほとりに公衆便所と小さな駐車場、その奥に山道に入る石段が見える。右回りに急傾斜で登って行くと、「磯山」と書いた標識が現れ、さらに登ると小さなピークに到達した。馬の背のような曲線を南西へ進むと岩峰のある頂が見えてきた。

海拔 51m の山頂に標識は何もないが、北側に広がる景色が素晴らしい。広い区画の畑とその間の農家の並び、その向こうには緩やかな曲線で裾野を引く大平山。

山頂の岩峰の横にはもうひとつ見るべき物があった。コンクリートの大きな円筒が建っており、山頂よりも 3~4m 高いような気がする。傍らの説明看板に「昭和 18 年に、この地に日立製作所が工場進出した時に作られた給水塔で、今は使われてい



ないが町の歴史を語る物として残してある」と書いてあった。

岩峰から南面へ下って行くと諏訪神社の境内になった。さほど長くはない石段とその先に杉並木の参道が見える。どうやら、私は裏口から登山してしまったようだ。

神社の名前は磯山諏訪神社、藤原秀郷が平将門を征伐したことに由来する神社のようだ。

石段を下って、長い参道を歩くと大きな鳥居をくぐって里に出た。

西へ進んで大平町運動公園に突きあたり、公園を右手に見て進み、日立の工場の敷地をまた右回りに回って、新大平下駅に15時11分に帰着。少し蒸し暑い上に途中から日が照って来たので、アイスクリームでも食べたい心境だったが、店がないので自動販売機のパックジュースで我慢。

15時46分発南栗橋行に乗り、この旅は終了。新越谷で下車して南越谷から武蔵野線に乗り、旧友との飲み会が待つ西船橋へ向かった。

以上



北東斜面の登山道



北面はわずかな起伏



磯山全景（北西から）



山頂の岩峰



山頂岩峰から北方の眺め

栃木県で一番低い山
磯山（海拔五十一m）



頂上直下の諏訪神社



諏訪神社参道（右から左へ進んで行く）